

沼 生 第 4 4 7 号

令和 2 年 1 月 2 9 日

沼田市地域公共交通会議 委員各位

沼田市地域公共交通会議

会 長 五十嵐 靖 男

沼田市地域公共交通会議の書面による協議結果について

令和 2 年 1 月 2 0 日付け沼生第 4 3 9 号により書面による協議を実施した沼田市地域公共交通会議の結果は次のとおりでありましたので報告いたします。

協議内容及び取りまとめ結果

(1) 令和元年度地域内フィーダー系統確保維持計画に係る事業評価について

承 認 1 3 / 1 4

棄 権 1 / 1 4

(2) 佐山線車両の代替及び南郷線車両変更について

承 認 1 3 / 1 4

棄 権 1 / 1 4

上記の結果、(1)(2) いずれについても、全委員 1 4 名中過半数を上回る委員の承認を得られたことから、沼田市地域公共交通会議設置要綱第 4 条第 6 項の定めにより、本協議内容について協議が調いました。

事務局：沼田市役所市民部生活課

生活係 担当 杉木

T E L : 0278-23-2111 内線 3052

F A X : 0278-24-5179

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月 日

協議会名: 沼田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
関越交通株式会社	沼須線 起点:沼田駅 終点:利根中央病院 運行回数:247回 運行回数:3,705.0回 車両減価償却費等国庫補助金を活用し、購入した車両で運行を継続。	沼田市役所が複合施設「テラスぬま」へ移転したことに伴い、他路線との接続状況、乗継時の負担軽減等を踏まえ、令和元年7月1日に「テラスぬま」を経由する運行経路に変更を行った。 地域内交通をより多くの人に知ってもらい、多くの人に利用してもらったため、バスの乗り方教室を開催した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	●運行費補助 1. 輸送容量 運行便数:往復7.5便 乗車定員:13人(運転手を除く) 13人×7.5便×2=195人 2. 1日あたりの乗車人数(人/日) ・期間中の乗車人数:8,236人 ・期間中の運行回数:247回(8,236人/247日)=33.3人 3. 収支割合 ・年間収益:1,688,697円 ・年間運行経費:7,355,284円 B (1,688,697円/7,355,284円)×100=22.9% 4. 臨時運行の周知 ・広く周知することができた 5. 経路変更の周知 ・広く周知することができた 目標を下回ってしまった指標はあったが、バス停別の乗降調査から病院の最寄りバス停に乗降が集中しており、本事業による医療ニーズへの充足を図るという効果は認められる。 ●車両減価償却費等補助 ・運行の継続については目標どおり達成した。	病院による通院支援事業の充実が目標を下回った一つの要因と考えられることから、通院支援事業主と情報交換を行い、利用者のニーズに合わせた経路、ダイヤ編成を検討する。また、沼須線運行開始以降の傾向を見ると、乗車人数の前年維持が非常に困難であることから、減少の傾向を加味した上での目標設定を行うようとする。

佐山線車両の代替及び南郷線の車両変更について

佐山線車両（小型 10 人乗り）を新規の同型車両（小型 10 人乗り）に代替する。

導入車両の内訳

車名：トヨタ（ハイエース） 4WD

定員：10名

型式：CBA-TRH229W

長さ：5.38m

幅：1.88m

高さ：2.28m

燃料：ガソリン

現在佐山線で使用している車両を南郷線の一部の便で使用する。

現在使用している車両（平成 31 年 3 月 31 日現在）

登録 No.	登録年月日	走行距離
群馬 200 あ 190	平成 23 年 11 月	441,715km

新旧対照表

路線名	新	旧
佐山線	新規車両	群馬 200 あ 190
南郷線	群馬 200 あ 190	群馬 200 あ 113

なお「群馬 200 あ 113」は 13 人乗りであるため乗車定員が減少となるが、直近 3 ヶ月間の南郷線最大乗車人数は 7 人であるため、問題はないと考えられる。